

都内の小中学校等から様々な相談を受けて、アドバイスや講習会を行ってきた芝生の専門家。この一年間で印象的だった取組についてお話を伺いました。

芝生の専門家 一年間を通して

株式会社栗芝 くりしま ころ
代表取締役 栗島 香さん
tel.03-5903-5333



冬芝の種まきを子供たちの手で

芝草には、春から秋まで緑色で冬は地下茎などの形で休眠する夏芝と、秋に種をまき冬の間に緑色となる冬芝があります。都内には、夏芝と冬芝を組み合わせ一年中緑色の芝生としている学校や幼稚園が多くあります。

清瀬市立清瀬第六小学校では自然環境委員会の活動として5,6年生が、葛飾区立高砂小学校では総合的な学習の時間に6年生が冬芝の種まきを行いました。専門家派遣によるポット苗補植などの講習会を通して子供たちが芝生に興味を持つようになり、気軽に楽しんで取り組める種まきを子供たちの手で行うことにしたそうです。

種まきにより芝草の種類を知ったり、芝生のことを学校新聞に載せたり、自ら雑草抜きをするなど、芝生を思いやる子供たちの様子が見られるようになりました。



冬芝の種まきを行う子供たち
～清瀬市立清瀬第六小学校にて～



目土した校庭にブラシをかける児童
～葛飾区立高砂小学校にて～

芝生の専門家からひとこと ～冬芝の種まき～



冬芝にはどのような種類がありますか？

ペレニアルライグラス(種まき後5～7日程度で発芽、初期生育が旺盛)、ケンタッキーブルーグラス等

種をまくときのポイントは？

- ・まきムラができないように、作業する人たちで手順の確認を行うこと。
- ・標準播種量は、40～50グラム/1㎡
- ・まく時期は、9月下旬から10月上旬が目安

種まき後の管理方法を教えてください！

- ・種まき後は特に乾燥しないように、散水を欠かさないこと(3,4週間程度)。
- ・発芽後2,3週間は、なるべく養生期間を設けるようにすること。

利用状況や生育環境に合わせた管理計画を

運動会をいつ実施するかは、芝生化した学校にとって重要なポイントです。芝生が良好に生えそろうと、一面きれいな緑色が広がる春は魅力的ですが、芝生の状態に思い悩むケースもあります。今年度も複数の学校から御相談を頂きました。

小金井市立前原小学校は春に運動会を行っていましたが、芝生の回復が間に合わないまま運動会当日を迎えていました。そこで今年度、春から秋への実施に変更してみたところ、春よりも凹凸が少なくきれいな状態で行うことができました。また補修計画も立てやすくなり、校庭を上手に活用できるようになったそうです。



小金井市立前原小学校

芝生の専門家からひとこと ～季節による芝生の特性(運動会編)～

時期	メリット	デメリット
春	天候が安定する時期。芝生が良好な状態で生えそろうと、秋よりもきれいな緑色が広がる。	芝生の状態が安定しにくい。
秋	夏休みを補修期間に設定でき、秋までに計画的な管理ができる。	運動会と冬芝の種まきの日程調整が難しい。

春と秋に運動会を開催する場合の芝生から見たメリットとデメリットを考えてみました。これは都内の学校を訪問してお話を伺ったり、芝生の状態を見た私の意見です。春、秋、どちらの開催が好ましいということは一概には言えません。教育的効果や学校行事の予定、芝生の生育環境など、総合的に判断して、各々の学校に合った選択をしていただくことが一番です。困ったときは是非御相談ください。

